



浜田林業部トピックス(6月号)



TOPICS 1

山地災害防止キャンペーン期間に合わせて治山施設を点検

6月15日(火)、江津市桜江町地内において、治山施設点検を行いました。

5月20日～6月30日は山地災害防止キャンペーン期間として、全国的に山地災害を未然に防止する活動を積極的に実施することとされています。このため、キャンペーン期間に合わせて山地防災ヘルパー、(一社)島根県森林協会、当センターの調査計画スタッフ及び森林保全課が合同で山地災害危険地区内の治山施設について点検を行いました。



点検対象の治山ダムと周辺森林を遠望



山腹工(法枠工)を点検中

この日点検した治山施設には、機能を低下させる大きな損傷などは確認されませんでした。周辺森林にも倒木や落石の発生など目立った荒廃の兆候はなく、健全度が高い施設群だと考えられました。今後とも計画的に治山施設の点検を進めていきます。

< 治山施設点検とは? >

治山施設は山崩れや地すべり、土石流などから人家などを守るための施設で、溪流に設置される治山ダム、山腹に施工される法枠や土留め、落石防護柵などがあります。

治山施設点検とは、治山施設の健全度や施設周辺の森林の荒廃状況等を把握するために行う調査で、個別の施設ごとに約10年間に1度のペースで行っています。施設の劣化状況を把握し、維持管理・更新等を適切に実施することで、施設の長寿命化を目指します。

< 山地災害危険地区とは? >

山地災害危険地区とは、山崩れや地すべりなどにより、人家などに直接被害を与えるおそれのある地区で、地形・地質特性からみて危険度が一定基準以上のものを把握したものです。

山地災害危険地区には、「山腹崩壊危険地区」、「崩壊土砂流出危険地区」、「地すべり危険地区」の3種類の区分があります。

- ・ 山腹崩壊危険地区 : 山斜面の崩壊により直接的な災害が発生するおそれのある地区
- ・ 崩壊土砂流出危険地区 : 土石流によって土砂が流出し、災害が発生するおそれのある地区
- ・ 地すべり危険地区 : 地すべり現象により災害が発生するおそれがある地区

県内の山地災害危険地区は、「マップonしまね」というインターネット地図で公開されています。あらかじめ、山地災害のおそれのある危険な箇所を知っておき、避難場所やルートを確認しておきましょう。

→ 検索

マップonしまね

アドレス <https://web-gis.pref.shimane.lg.jp/shimane-sp/>
サイトに入ってから、「森林・鳥獣・農林水産業」を選択

令和3年6月18日、浜田市立金城中学校にて、クマについての出前授業を開催しました。クマに出会った時の対応方法について学校から出前授業の依頼を受け、全校生徒約100名を対象に実施したものです。同校で3年続けての開催となり、クマとの遭遇時の注意点を覚えている生徒も増え、クマに関する正しい知識が浸透しつつあります。

また、今回はクマを人里に近づけないための対策（環境整備）について、金城町での取り組み事例を紹介し、身近な問題としてとらえられるような内容としました。生徒の皆さんは地域の取り組みを熱心に聞き入っていました。

今日からすぐ出来るクマの被害にあわないための「クマから身を守る方法」だけでなく、長期的にみた「クマを人里に近づけない対策」について考える機会になったのではないのでしょうか。



クマと出会った時の対応方法を説明

<リーフレット クマの被害にあわないために>

ツキノワグマの生態や出会わないための注意点、出会った時の対応方法が記載されています。

→ 島根県HPサイト内検索

クマ リーフレット

アドレス：https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/choujyu_taisaku/kuma_higaitaisaku.data/kumatirashi.pdf